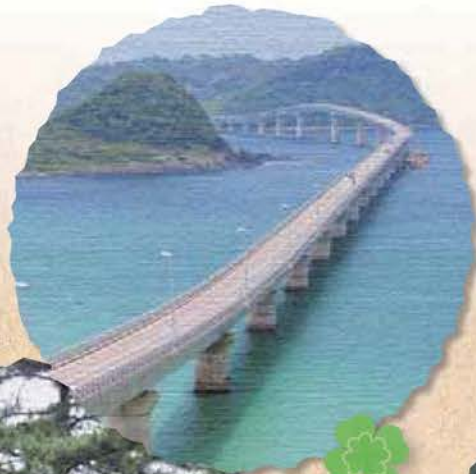


全国知的障害福祉 関係職員研究大会

山口大会

『夢や希望をかなえあえる未来へ』

～みんなで語ろう！ 明日にかける 障害者福祉への熱き思いを～



平成30年
会期 11月14日(水)～11月16日(金)

会場 山口市民会館

●開催概要	2
●大会日程	3
●大会お申し込み・宿泊等のご案内	16
●宿泊・交通 MAP	21
●参加申込書	24

第56回 全国知的障害福祉関係職員研究大会 山口大会 開催要綱

大会テーマ

『夢や希望をかなえあえる未来へ』

～みんなで語ろう！明日にかける 障害者福祉への熱き思いを～

大会趣旨

明治維新150年の今年、図らずも本大会をここ山口の地で開催することは何かの縁なのでしょう。

明治から大正、昭和、平成に至るこの150年のあいだの、我が国の知的障害者と呼ばれている人たちの人生は、生活は、どのようなものだったのでしょうか。また、戦後70有余年を経て、我が国の知的障害者福祉は、社会の理解と共感を得て、人と人とが支え合う社会基盤、生活基盤となったのでしょうか。

一人の人間の命がこの世に生きるために、いったいどれほど多くの人間の命の支え合いがあるのか。

人は、誰もがお互い支え合って生きているのです。

競争原理や効率性の社会。それらを追い求めてやまない時代にあって、果たして知的障害者福祉はどこまで根付いているのでしょうか。

私たちはこのような疑問や問題意識を胸に抱いて、これからの知的障害者福祉を展望し、知的障害者と呼ばれている人たちの人生と生活をより明るく、より豊かに、より充実したものとするために、本大会を知恵と力と勇気を出し合う大会にしたいと思います。

さあ『夢や希望をかなえあえる未来へ』向かって、『みんなで語ろう！明日にかける障害者福祉への熱き思いを！！』

主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
中国地区知的障害者福祉協会
一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会

後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、山口県、山口市、(社福) 全国社会福祉協議会、全国手をつなぐ育成会連合会、(一社) 全国知的障害者施設家族会連合会、(社福) 全国重症心身障害児(者)を守る会、(公社) 全国脊髄損傷者連合会、(一社) 全国肢体不自由児者父母の会連合会、(一社) 全国児童発達支援協議会、(公社) 日本重症心身障害福祉協会、(公社) 日本精神科病院協会、全国社会就労センター協議会、(特非) 日本相談支援専門員協会、(特非) 日本障害者協議会、(特非) 全国地域生活支援ネットワーク、障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会、(公社) 日本発達障害連盟、(一社) 日本発達障害ネットワーク、(一社) 日本自閉症協会、(社福) 山口県社会福祉協議会、(社福) 山口県共同募金会、(一財) 山口県手をつなぐ育成会、山口県知的障害者施設家族会連合会、(特非) 山口県自閉症協会、山口県弁護士会、(社福) 山口市社会福祉協議会、(一社) 山口県社会福祉士会(順不同)

開催概要

会期

平成**30**年

11月14日水・15日木・16日金

会場

- 全体会 **山口市民会館 大ホール**
山口市中央2-5-1 **TEL** 083-923-1000
- 分科会 **ホテルニュータナカ**
山口市湯田温泉2-6-24 **TEL** 083-923-1313
- セントコア山口**
山口市湯田温泉3-2-7 **TEL** 083-922-0811
- カリエンテ山口**
山口市湯田温泉5-1-1 **TEL** 083-922-2792
- ホテルかめ福**
山口市湯田温泉4-5-2 **TEL** 083-922-7000
- 山口県総合保健会館**
山口市吉敷下東3-1-1 **TEL** 083-934-2200
- 情報交換会 **ホテルニュータナカ 2階 平安**
山口市湯田温泉2-6-24 **TEL** 083-923-1313

参加者

- 1) 知的障害福祉関係職員及び教育関係者、関係行政職員等
- 2) 全国手をつなぐ育成会連合会会員、全国知的障害者施設家族会連合会会員等
- 3) 一般の方々で福祉に関心のある方

大会参加費

15,000円

第2日目 昼食弁当代 1,500円(ご希望の方は事前申し込みをお願いします)
※一般の方で1日単位の参加の方は、5,000円(当日会場にて徴収します。申込み不要)

情報交換会

参加費：**8,000円**

会場：**ホテルニュータナカ 2階 平安**

宿泊

山口市内及び山口市周辺市町 (P18宿泊のご案内参照)

大会日程

11月14日 水 全体会

第1日目

- 11:30～12:20 受付
- 12:20～12:50 ウェルカムアトラクション
- 13:00～14:00 開会式・表彰式
- 14:00～15:00 行政説明 厚生労働省（調整中）
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～17:00 基調講演
「知的障害のある人の支援について—合理的配慮の視点から」
東京大学先端科学技術研究センター
人間支援工学分野教授：中邑 賢龍 氏
- 17:00～18:30 移動
- 18:30～20:30 情報交換会 会場：ホテルニュータナカ

11月15日 木 分科会

第2日目

- 9:00～9:30 受付
- 9:30～12:00 分科会
- 12:00～13:00 休憩（昼食）
- 13:00～16:30 分科会
- ※分科会ごとに会場や休憩時間が異なりますのでご確認ください

11月16日 金 全体会

第3日目

- 8:30～9:00 受付
- 9:00～10:45 特別講演Ⅰ「ドキュメンタリー映画『ふたりの桃源郷』への思い」
KRY山口放送ディレクター：佐々木 聰 氏
(映画『ふたりの桃源郷』監督)
- 10:45～11:00 休憩
- 11:00～12:15 特別講演Ⅱ「成年後見制度を考える」
講談師：神田 織音 氏
- 12:15～12:30 閉会式

お問い合わせ

大会に関して

全国知的障害福祉関係職員研究大会・山口大会事務局

[担当：佐藤・山崎]

〒753-0072 山口県山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館2階
一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会内

TEL 083-925-2424

FAX 083-925-2212

E-mail yamachifuku@alpha.ocn.ne.jp

Web <http://yamaguchi-aid.com/>

申込・宿泊に関して

名鉄観光サービス株式会社 山口支店

[担当：前田・村中・大田] ※FAXまたはメールでお願いいたします。

〒753-0074 山口県山口市中央3-1-7 (ミツイビル)

TEL 083-923-2600

FAX 083-923-2552

E-mail h30zenchifuku-yamaguchi@mwt.co.jp

第1日目
11月14日水

全体会

11:30～12:20

受付

12:20～12:50

ウェルカムアトラクション

ウォーターアート® パフォーマンス 堀川玄太氏

石膏ボードや板などの平面にほうきや霧吹きを使って、水で絵を描く。幼児期、知的障害児通園施設（現、児童発達支援センター）に通園。現在は就労支援事業所で働くかたわら、各地でパフォーマンスを展開している。

13:00～14:00

開会式・表彰式

14:00～15:00

行政説明 厚生労働省（調整中）

15:00～15:20

休憩

15:20～17:00

基調講演 中邑 賢龍氏

東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野教授

【経歴】

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得後退学（1984年）、香川大学教育学部助手（1984年）、香川大学教育学部助教授（1987年）を経て、2005年より東京大学先端科学技術研究センター教授。【専門は、拡大代替コミュニケーション、支援工学】社会的活動として、「DO-IT Japan（障害のある学生の高等教育への進学と就労への移行支援を通じたリーダー養成プロジェクト）」及び「ROCKET（異才発掘プロジェクト）」、「ATAC（電子情報支援技術とコミュニケーション支援技術に関するカンファレンス）」等の立ち上げからかかわっている。

【主な著書等】

「バリアフリー・コンフリクト」東京大学出版会、「育てにくい子は、挑発して伸ばす」文芸春秋社、「異才、発見！一枠を飛び出す子どもたち」岩波新書、「発達障害の子どもの『ユニークさ』を伸ばすテクノロジー」中央法規出版、「AAC入門ーコミュニケーションに困難を持つ人とのコミュニケーションの技法」こころリソースブック出版会

17:00～18:30

移動

18:30～20:30

情報交換会 会場：ホテルニュータナカ

第2日目
11月15日木

分科会

分科会全体趣旨

今や、人生 100 年と言われる時代を迎えようとしています。日夜、知的障害者福祉に携わる私たちは、果たして知的障害者と呼ばれている人たちの人生を、そしてその将来の生活の在り方を視野に入れた支援を実践しているのでしょうか。私たちはそうありたいと願う知的障害者の将来のライフスタイルを想像しつつ、現在の支援を創造し、最善を尽くしたいものです。今がよければ将来もよくなるものとは限りません。分科会では、今日明日の支援の在り方だけでなく、将来の知的障害者の豊かな人生と充実した生活を視野に入れた知的障害者福祉の在り方、支援の在り方について語り合い、共有したいと思います。

第1分科会

未来を育む

テーマ 障害児支援の未来を語ろう

- 基調講演** 「今後の障害児支援について」
 講師 品川区立品川児童学園 施設長 光真坊浩史氏
 (元 厚生労働省障害福祉課 障害児支援専門官)
- 講演1** 障害児入所施設の今後の在り方について
 講師 大分大学福祉健康科学部教授 相澤 仁氏
- 講演2** 障害児通所支援に関わる職員の質の向上に向けて
 講師 山口県立大学社会福祉学部教授 藤田 久美氏
- シンポジウム** 「障害児支援の未来を語ろう」
 実践報告
 (社福) 名張育成会 子どもライフサポートセンターはーと 施設長 阿部 晋一氏
 (社福) 広島市社会福祉事業団 広島市西部子ども療育センター 園長 小川 裕子氏
 シンポジスト 阿部 晋一氏・小川 裕子氏・相澤 仁氏・藤田 久美氏・光真坊浩史氏
 コーディネーター (社福) 柏学園理事長 米川 晃氏
 ([公財] 日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 前部会長)

第2分科会

豊かな暮らし

テーマ 高齢知的障害者の豊かな生活を支援する

- 基調講演** 「高齢知的障害者支援の実践」
 講師 (独法) 国立のぞみの園事業企画局事業企画部 次長 古川 慎治氏
- 実践報告** 「高齢知的障害者支援の取り組みについて」
 報告者
 (社福) 「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」ホームなごみ さちの里 生活支援員 西崎 弘史氏
 (社福) 聖音会 さがみ野ホーム 生活支援員 阿部 祐氏
- シンポジウム** 「高齢期を支える支援について」
 シンポジスト
 (社福) 侑愛会 侑愛荘 施設長 祐川 暢生氏
 (社福) 瀬戸内福祉事業会 瀬戸内学園 サービス管理責任者 加藤 修一氏
 (社福) みずほ厚生センター あらかし 総括管理者 高橋 智秀氏
 コーディネーター (独法) 国立のぞみの園事業企画局事業企画部 次長 古川 慎治氏

第3分科会

生きがい

テーマ 暮らしと生きがいをともに創る「地域共生社会」

- 講演1** 「行政説明」
 講師 厚生労働省 調整中
- 講演2** 「地域共生社会に向けて」
 講師 (社福) 中心会 理事長 浦野 正男氏
- シンポジウム** 「暮らしと生きがいをともに創る」
 シンポジスト
 (社福) つどいの家 仙台つどいの家 施設長 山口 収氏
 (社福) 世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン 統括管理者 中西 昌哉氏
 (社福) 虹の会 ジョイジョイワークはあとふる 管理者 笠川 義仁氏
- コーディネーター**
 (社福) みなと舎 常務理事 森下 浩明氏
 ([公財] 日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 部会長)

第4分科会

活躍

テーマ 障害のある人の働き方・丸ごと 一億総活躍社会で働く

- 講演1 「障害者雇用の取り組み」
 講師 (株)ファーストリテイリング 人事部 山崎 桜氏
- 講演2 「農福連携の取り組み」
 講師 全国農福連携推進協議会 会長 濱田 健司氏
- シンポジウム 「障害のある人の働き方・丸ごと」
 シンポジスト
 世田谷区立障害者就労支援センターすきっぷ 施設長 西村 周治氏
 (社福) 維雅幸育会 びいはいぶ・ふっくりあ 管理者 奥西 利江氏
 (社福) 宇部市社会福祉協議会 会長 有田信二郎氏
 コーディネーター 山口学芸大学教育学部 教授 佐藤 真澄氏

第5分科会

生きる

テーマ 終の住処としてのグループホーム -権利擁護と意思決定支援

- 基調講演 「行動障害のある人の地域での暮らし～レジデンスなさはらの支援を通して」
 講師 (社福) 北摂杉の子会 理事長 松上 利男氏
- 実践報告
 報告者
 (社福) はるにれの里 グループホームあしり 業務課長 本郷 和章氏
 (社福) 伊達コスモス21 統括事業管理者 大垣 勲男氏
 (社福) ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ 所長 荒井 隆一氏
 (社福) ひらきの里 ひらきの里 支援課長 岩崎 泰経氏
- シンポジウム 「終の住処としてのグループホーム」
 シンポジスト 本郷 和章氏・大垣 勲男氏・荒井 隆一氏・岩崎 泰経氏
 コーディネーター (社福) 北摂杉の子会 理事長 松上 利男氏

第6分科会

話してみよう

テーマ 夢や希望をかなえあえる未来へ

- 基調講演 「権利擁護と意思決定支援」
 講師 沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授 島村 聡氏
- 実践報告
 報告者 (社福) もみの木福祉会 障がい者支援センターとおん 相談支援専門員 松下 福德氏
 (社福) 萩市社会福祉事業団 救護施設つばき 副施設長 藤井 哲治氏
 NPO法人らいと CIL下関 相談支援専門員 宮野 直樹氏
- シンポジウム 「権利擁護と意思決定支援について」
 シンポジスト 松下 福德氏・藤井 哲治氏・宮野 直樹氏・障害のある当事者、ご家族
 コーディネーター 沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授 島村 聡氏

第7分科会

見直そう

テーマ 虐待の根絶を目指す地方会の取り組みから学ぶ

- 講演1 「障害者施設における虐待(権利侵害)の根絶に向けて」
 講師 埼玉大学教育学部 准教授 宗澤 忠雄氏
- 講演2 「障害者施設における虐待(権利侵害)の発生要因と根絶に向けた取り組み」
 講師 横浜市立大学国際総合科学部 教授 増田 公香氏
- シンポジウム 「虐待の根絶を目指す地方会の取り組みから学ぶ」
 シンポジスト
 北海道協会 権利擁護委員会委員長 山本 家弘氏
 福島県協会 人権倫理委員会委員長 古川 彰彦氏
 鹿児島県協会 倫理・危機管理委員会副委員長 森田 善博氏
 山口県協会 人権・倫理委員会 山口 正之氏・岡本 実氏
 助言 宗澤 忠雄氏・増田 公香氏
- コーディネーター
 (社福) 弘徳学園 障害者支援施設 ひゅうまん 統括施設長 重利 政志氏
 ([公財] 日本知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会 前委員長)

第2日目
分科会

第1分科会 「未来を育む」

障害児支援の未来を語ろう

私たちには、未来に不安を抱く障害児や保護者に寄り添い、生きる力を育むための支援を行うことが求められています。子ども達の生きる力を育むことで、子ども達は確かな成長を遂げ、「誰かに必要とされる」、「誰かの役に立つ」存在となります。その力を育み、保護者の不安に応えるための支援について共に考え、子ども達の夢や希望を叶える未来を語り合いたいと思います。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|------|-----|--------|------|-----|-------|-----|----|--------|-----|----|--------|------|----|-------------|------------|---------------------------------|--|
| 9:30 ~ 10:20 | <p>基調講演 「今後の障害児支援について」
 講師：品川区立品川児童学園 施設長 光真坊浩史氏（東京都）
 （元 厚生労働省障害福祉課 障害児支援専門官）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:30 ~ 11:50 | <p>講演1 障害児入所施設の今後の在り方について
 講師：大分大学福祉健康科学部教授 相澤 仁氏（大分県）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11:50 ~ 12:50 | <p>休憩（昼食）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12:50 ~ 13:50 | <p>講演2 障害児通所支援に関わる職員の質の向上に向けて
 講師：山口県立大学社会福祉学部教授 藤田 久美氏（山口県）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:00 ~ 16:30 | <p>シンポジウム 「障害児支援の未来を語ろう」
 実践報告
 「障害児入所施設の自立援助システムについて」
 （社福）名張育成会 子どもライフサポートセンターはーと
 施設長 阿部 晋一氏（三重県）
 「医療的ケア児の支援について」
 （社福）広島市社会福祉事業団 広島市西部子ども療育センター
 園長 小川 裕子氏（広島県）</p> <p><シンポジスト></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>阿部 晋一氏</td> <td>実践報告</td> <td>発表者</td> </tr> <tr> <td>小川 裕子氏</td> <td>実践報告</td> <td>発表者</td> </tr> <tr> <td>相澤 仁氏</td> <td>講演1</td> <td>講師</td> </tr> <tr> <td>藤田 久美氏</td> <td>講演2</td> <td>講師</td> </tr> <tr> <td>光真坊浩史氏</td> <td>基調講演</td> <td>講師</td> </tr> </table> <p><コーディネーター></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>（社福）柏学園 理事長</td> <td style="text-align: right;">米川 晃氏（広島県）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（〔公財〕日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 前部会長）</td> </tr> </table> | 阿部 晋一氏 | 実践報告 | 発表者 | 小川 裕子氏 | 実践報告 | 発表者 | 相澤 仁氏 | 講演1 | 講師 | 藤田 久美氏 | 講演2 | 講師 | 光真坊浩史氏 | 基調講演 | 講師 | （社福）柏学園 理事長 | 米川 晃氏（広島県） | （〔公財〕日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 前部会長） | |
| 阿部 晋一氏 | 実践報告 | 発表者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小川 裕子氏 | 実践報告 | 発表者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相澤 仁氏 | 講演1 | 講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤田 久美氏 | 講演2 | 講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 光真坊浩史氏 | 基調講演 | 講師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （社福）柏学園 理事長 | 米川 晃氏（広島県） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （〔公財〕日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 前部会長） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第2日目
分科会

第2分科会 「豊かな暮らし」

高齢知的障害者の豊かな生活を支援する

利用者の高齢化は、心身の機能低下に応じた支援と介護の在り方、疾病の増加に伴う医療との連携、日中活動から生きがい活動など生活環境の整備、そして終末支援への取組等、支援の現場に大きな変化をもたらしています。

多様な支援を必要とする利用者が生活する入所施設において、高齢者が安心と豊かさを実感できる生活のための支援を共に考えます。

9:30～11:30

基調講演 「高齢知的障害者支援の実際」

講師：(独法) 国立のぞみの園事業企画局事業企画部

次長 古川 慎治氏 (群馬県)

11:30～12:30

休憩 (昼食)

12:30～14:00

実践報告 「高齢知的障害者支援の取り組みについて」

(社福)「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」ホームなごみ さちの里

生活支援員 西崎 弘史氏 (広島県)

(社福) 聖音会 さがみ野ホーム

生活支援員 阿部 祐氏 (神奈川県)

14:15～16:30

シンポジウム 「高齢期を支える支援について」

<シンポジスト>

(社福) 侑愛会 侑愛荘

施設長 祐川 暢生氏 (北海道)

(社福) 瀬戸内福祉事業会 瀬戸内学園

サービス管理責任者 加藤 修一氏 (岡山県)

(社福) みずほ厚生センター あらかし

統括管理者 高橋 智秀氏 (大分県)

<コーディネーター>

(独法) 国立のぞみの園事業企画局事業企画部次長

古川 慎治氏 (群馬県)

第2日目
分科会

第3分科会 「生きがい」

暮らしと生きがいをともに創る「地域共生社会」

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」、「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超え「丸ごと」につながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく「地域共生社会」が、障害者と呼ばれている人たちの暮らしと生きがいにどのように影響するのか、あるべき将来の福祉の姿について語り合いたいと思います。

9:30～10:30

講演1 「行政説明」

講師：厚生労働省 調整中

10:45～12:00

講演2 「地域共生社会に向けて」

講師：(社福) 中心会

理事長 浦野 正男 氏 (神奈川県)

12:00～13:00

休憩 (昼食)

13:00～16:30

シンポジウム 「暮らしと生きがいをともに創る」

<シンポジスト>

「地域とのつながりを求めて～『すてーじ』の実践から～」

(社福) つどいの家 仙台つどいの家

施設長 山口 収 氏 (宮城県)

「暮らしと生きがいをともに創る『地域共生社会』」

(社福) 世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン

統括管理者 中西 昌哉 氏 (京都府)

「だれもが、『明日の日は待ち遠しい』と感じてもらえる活動」

(社福) 虹の会 ジョイジョイワークはあとふる

管理者 笠川 義仁 氏 (広島県)

<コーディネーター>

(社福) みなと舎 常務理事

森下 浩明 氏 (神奈川県)

(〔公財〕日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 部会長)

第2日目
分科会

第4分科会 「活躍」

障害のある人の働き方・丸ごと 一億総活躍社会で働く

一億総活躍社会づくりが進められる中、障害のある人たちの就労においても、「支える側」と「受け手側」に分かれるのではなく、障害のある人たちが地域の一員として役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる働く場を構築し、公的な福祉サービスと協同して助け合いながら働くことのできる「地域共生社会」の意義と価値を検証します。

9:30～10:40	講演1 「障害者雇用の取り組み」 講師：(株)ファーストリテイリング 人事部 山崎 桜氏（東京都）
10:50～12:00	講演2 「農福連携の取り組み」 講師：全国農福連携推進協議会 会長 濱田 健司氏（東京都）
12:00～13:00	休憩（昼食）
13:00～16:30	シンポジウム 「障害のある人の働き方・丸ごと」 <シンポジスト> 「障害のある人たちが活躍できる職場」 世田谷区立障害者就労支援センターすきっぷ 施設長 西村 周治氏（東京都） 「就労活動の充実『施設外就労』と工賃向上の取り組み」 （社福）維雅幸育会 びいはいぶ・ふっくりあ 管理者 奥西 利江氏（三重県） 「二人で二人前の就労」 （社福）宇部市社会福祉協議会 会長 有田信二郎氏（山口県） <コーディネーター> 山口学芸大学教育学部 教授 佐藤 真澄氏（山口県）

第2日目
分科会

第5分科会 「生きる」

終の住処としてのグループホーム

社会の高齢化と同様に地域で暮らす利用者にも高齢化が進み企業や作業所をリタイアされる利用者が増え、日中の過ごし方を変更したり、日々の医療的ケアが必要になり、高齢者施設を選択される方も現れました。支援の在り方の急激な変化が課題となっています。

また、行動障害を伴う方や医療的ケアのサポートを受けながら、重度障害者を地域で支える取り組みも一方で進んでいます。

高齢化や重度化といった様々な課題を抱える利用者をどのように支えていくのか。本分科会では、グループホームにおける強度行動障害を伴う方の生活、重症心身障害の方の生活、看取り等の事例を通じて、今、そしてこれからを共に考えていきます。

9:30 ~ 10:30	<p>基調講演 「行動障害のある人の地域での暮らし ～レジデンスなさはらの支援を通して」 講師：(社福) 北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏 (大阪府)</p>
10:40 ~ 11:20	<p>実践報告 1 「行動障害のある方が住み慣れた地域で暮らす ために -グループホームでの実践から見えてきたもの」 (社福) はるにれの里 グループホームあしり 業務課長 本郷 和章 氏 (北海道)</p>
11:30 ~ 12:10	<p>実践報告 2 「今を生きる重い障がいのある人の人生に間に合う 制度設計を！ -あなた方の課題は私たちの痛みと苦しみ」 (社福) 伊達コスモス21 統括事業管理者 大垣 勲男 氏 (北海道)</p>
12:10 ~ 13:10	<p>休憩 (昼食)</p>
13:10 ~ 13:50	<p>実践報告 3 「グループホームで出来ること -支援度の高い方から看取りまで」 (社福) ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ 所長 荒井 隆一 氏 (千葉県)</p>
14:00 ~ 14:40	<p>実践報告 4 「最後まで自分らしく -生き抜く」 (社福) ひらきの里 ひらきの里 支援課長 岩崎 泰経 氏 (山口県)</p>
15:00 ~ 16:30	<p>シンポジウム 「終の住処としてのグループホーム」 <シンポジスト> 本郷 和章 氏 実践報告 1 報告者 大垣 勲男 氏 実践報告 2 報告者 荒井 隆一 氏 実践報告 3 報告者 岩崎 泰経 氏 実践報告 4 報告者 <コーディネーター> (社福) 北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏 (大阪府)</p>

第2日目
分科会
第6分科会 「話してみよう」

夢や希望をかなえあえる未来へ—権利擁護と意思決定支援

相談支援専門員は、「利用者の幅広いニーズを把握し、総合的かつ継続的なサービスの提供を確保するのみならず、社会資源の改善及び開発等に努めること」（相談支援ガイドライン）の使命を担い職務に従事しています。

平成30年度の制度改正では、相談支援事業の量的整備から、質的整備への期待感が鮮明に伺えます。共生社会の実現を図る中で、特に知的障害者の方々の権利擁護や意思決定支援の課題に向き合い、サービス等利用計画を含め「夢や希望をかなえあえる」支援を「話してみよう」ではありませんか。

9:30～11:30	基調講演 「権利擁護と意思決定支援」 講師：沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授 島村 聡氏（沖縄県）
11:30～12:10	実践報告1 「経験・体験しないと、いつまでも自己選択の幅は広がらない」 （社福）もみの木福祉会 障がい者支援センター和おん 相談支援専門員 松下 福德氏（鳥取県）
12:10～13:10	休憩（昼食）
13:10～13:50	実践報告2 「救護施設つばきでの実践を通して“権利擁護”について」 （社福）萩市社会福祉事業団 救護施設つばき 副施設長 藤井 哲治氏（山口県）
13:50～14:30	実践報告3 「本人中心支援 ～本人の思いから～」 NPO 法人らいと CIL（自立生活支援センター）下関 相談支援専門員 宮野 直樹氏（山口県）
14:40～16:30	シンポジウム 「権利擁護と意思決定支援について」 <シンポジスト> 松下 福德氏 実践報告1 報告者 藤井 哲治氏 実践報告2 報告者 宮野 直樹氏 実践報告3 報告者 障害のある当事者2名、ご家族2名 <コーディネーター> 沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授 島村 聡氏（沖縄県）

第2日目
分科会

第7分科会 「見直そう」

虐待の根絶を目指す地方会の取り組みから学ぶ

平成24年の障害者虐待防止法の施行後も障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の件数は増え続け、平成28年度は400件を超える虐待が報告されました。

虐待の背景には、支援における専門性の課題、職場の人間関係、ゆとりのない人員配置など、さなざまな要因があると考えられます。

第7分科会では、障害者虐待防止の様々な工夫を取り入れた地方会の活動を報告し、障害者施設における虐待の根絶に向けた取り組みを語り合うものとします。

9:30 ~ 10:50	<p>講演 1 「障害者施設における虐待(権利侵害)の根絶に向けて」</p> <p>講師：埼玉大学教育学部 准教授 宗澤 忠雄氏 (埼玉県)</p>
11:00 ~ 12:20	<p>講演 2 「障害者施設における虐待(権利侵害)の発生要因と根絶に向けた取り組み」</p> <p>講師：横浜市立大学国際総合科学部 教授 増田 公香氏 (神奈川県)</p>
12:20 ~ 13:20	<p>休憩 (昼食)</p>
13:20 ~ 16:30	<p>シンポジウム 「虐待の根絶を目指す地方会の取り組みから学ぶ」</p> <p><シンポジスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 権利擁護委員会の状況 北海道協会 権利擁護委員会委員長 山本 家弘氏 ・ 意思決定支援の実例と虐待防止 福島県協会 人権倫理委員会委員長 古川 彰彦氏 ・ 権利擁護マニュアルの作成と研修の実施 鹿児島県協会 倫理・危機管理委員会副委員長 森田 善博氏 ・ 虐待事件検証と再発防止の取り組み 山口県協会 人権・倫理委員会 山口 正之氏・岡本 実氏 <p><助言> 宗澤 忠雄氏・増田 公香氏</p> <p><コーディネーター></p> <p>(社福) 弘徳学園 障害者支援施設 ひゅうまん 統括施設長 重利 政志氏 (岡山県)</p> <p>(〔公財〕) 日本知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会 前委員長)</p>

第3日目
11月16日 金

全体会

8:30～9:00

受付

9:00～10:45

特別講演Ⅰ

「ドキュメンタリー映画『ふたりの桃源郷』への思い」

映画「ふたりの桃源郷」 監督 佐々木 聡氏

(KRY山口放送テレビ制作部ディレクター)

【経歴】

1971年山口県出身。1995年山口放送入社。制作ディレクター、報道記者を経て2007年よりテレビ制作部配属。情報番組を担当する傍ら、ドキュメンタリーを制作する。2010年放送文化基金賞(放送文化 個人・グループの部)、文化庁2015年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。制作した主な番組に「奥底の悲しみ」シリーズ(日本放送文化大賞グランプリ、民放連賞(報道)最優秀賞、文化庁芸術祭優秀賞)、「笑って泣いて寄り添って」シリーズ(文化庁芸術祭優秀賞、民放連賞(放送と公共性)最優秀賞、日本放送文化大賞グランプリ候補)、「20ヘクタールの希望」シリーズ(民放連賞(報道)優秀賞、ギャラクシー賞選奨)、映画「ふたりの桃源郷」(文部科学省特別選定、第90回キネマ旬報ベストテン文化映画作品賞、2016年度文化庁映画賞文化記録部門優秀賞、第40回山路ふみ子映画賞福祉賞、など受賞多数)ほか。

10:45～11:00

休憩

11:00～12:15

特別講演Ⅱ 「成年後見制度を考える」

講演師

神田 織音氏

【経歴】

1972年東京都出身。高校時代より演劇を始め、1999年女流講師の神田香織に入門、講演協会所属。2003年二つ目昇進。2006年成年後見講演発表。2011年真打昇進。2013年遺言・相談講演発表。

古典や新作の講演に加え、成年後見や遺言等の講演も全国各地で上演している。

12:15～12:30

閉会式